



# 経理DXの業務内容

中小企業における経理業務のデジタル変革を実現する9つの重要施策をご紹介します。

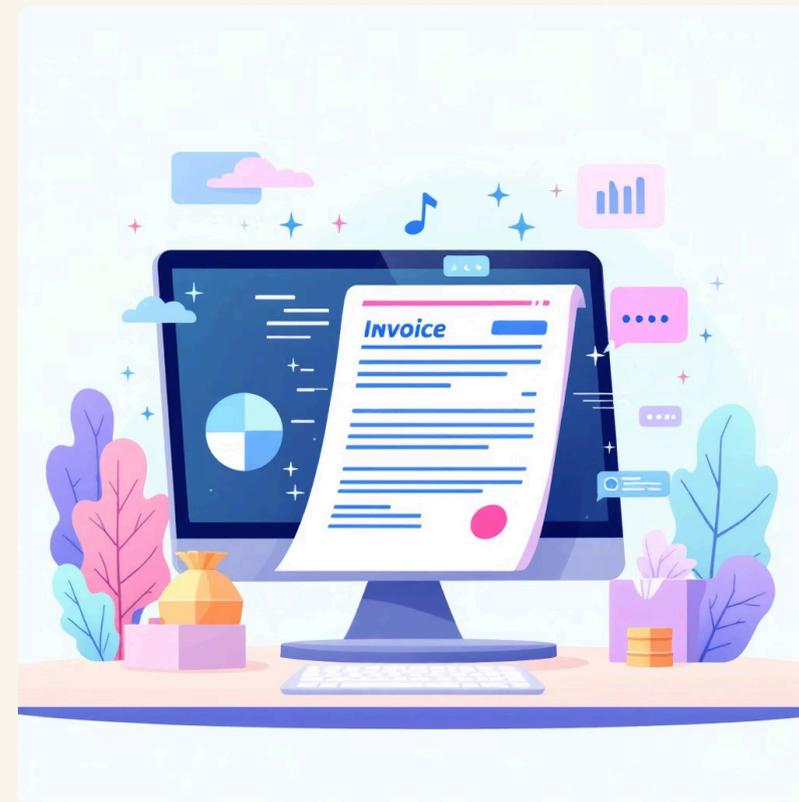
# 請求書処理の完全自動化

## 従来の課題

紙やPDFで届く請求書を手作業で確認し、会計システムへ入力する作業は、時間がかかり、入力ミスリスクも高い状態でした。

## DX後の業務フロー

- 専用メールアドレスで請求書PDFを自動受信
- AIによる自動データ化で内容を抽出
- 支払一覧表・仕訳データ・全銀データを自動生成



手作業による転記ミスをゼロにし、処理時間を約**70%削減**できます。

# モバイル経費精算とペーパーレス化



## モバイル完結

iPhoneなどのモバイル端末で経費精算を完結。外出先からでも申請・承認が可能になります。



## 電子提出

領収書をスマホで撮影して電子提出。紙の保管が不要になり、オフィスのスペース削減にも貢献します。



## キャッシュレス

キャッシュレス決済の活用により、経費データが自動連携。手入力作業を大幅に削減できます。



# 銀行取引とクレジット利用の 自動連携



## 銀行API連携

銀行口座と会計システムをAPI連携し、取引データを自動で仕訳化。経費項目も自動割り振りされます。



## クレジット連携

クレジット利用データをAPI経由で自動反映。発生日ベースで仕訳を生成し、入力漏れや二重計上を防止します。

金融機関との直接連携により、**リアルタイムでの資金管理**が実現します。  
人的作業を最小限に抑え、正確性が向上します。

# 補助簿のデジタル化による一元管理



## 小口現金管理の課題を解決

従来、各拠点で管理していた小口現金出納帳をオンライン化することで、本社での一元管理が可能になります。

- 支店などの小口現金をリアルタイムで把握
- 合計仕訳による経理処理の簡素化
- 現金管理の透明性向上

これにより、月次決算のスピードアップと正確性向上を同時に実現できます。

# 売上・売掛金管理の高度化

## 請求書発行の自動化

請求書発行システムにより、詳細な売上区分を自動で会計システムに反映します。

## 売掛金の可視化

売掛金データをダッシュボードで可視化し、回収状況を分析。滞留債権の早期発見が可能です。

## 仕訳の簡素化

補助簿化により売掛金仕訳を簡素化。月次決算業務の負担を軽減します。

# 証憑管理と電子帳簿保存の実現

1

## 証憑の電子化

各仕訳単位で証憑（請求書・領収書など）を添付可能。電子データとして一元保存し、検索・確認が容易になります。

2

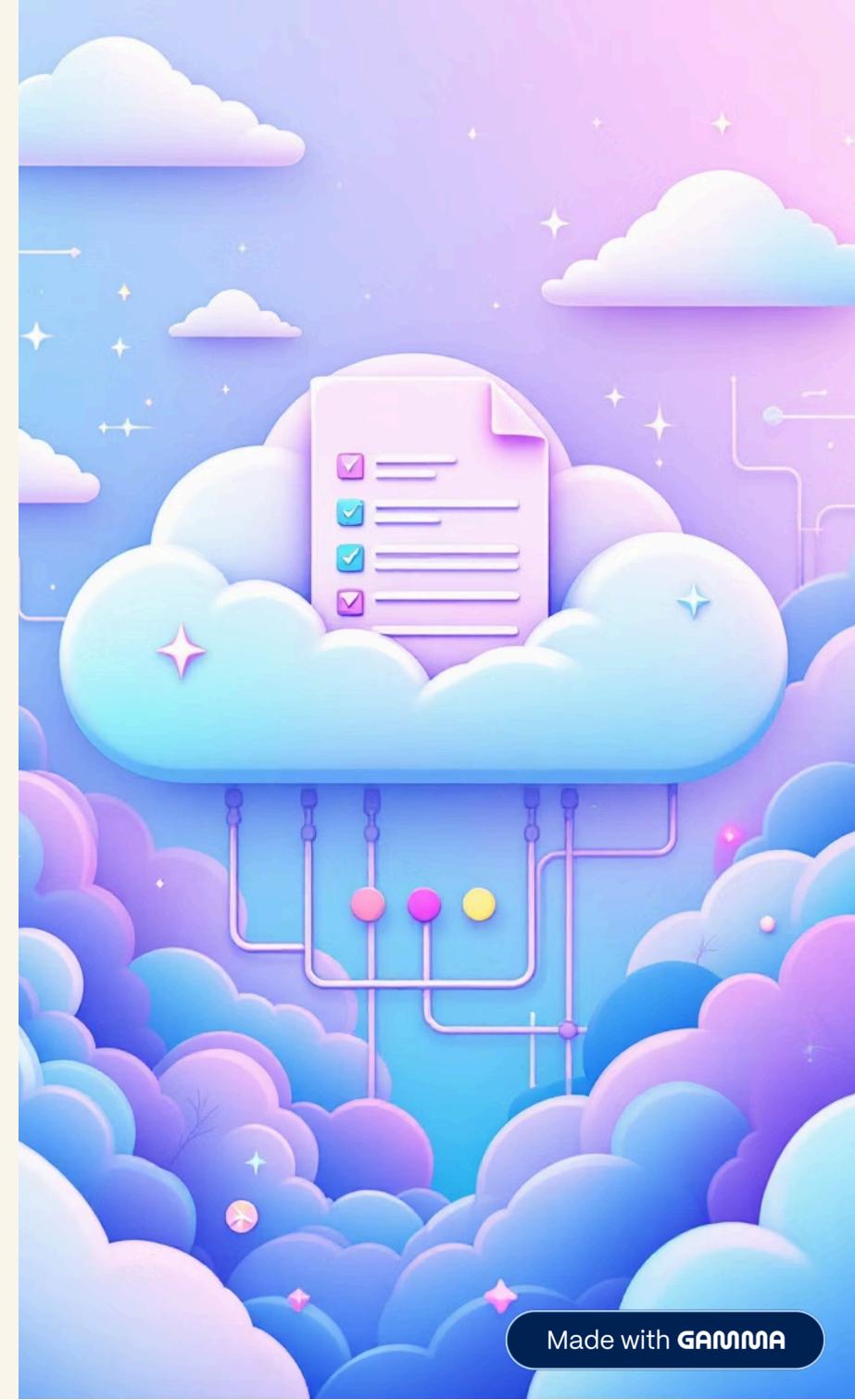
## 法令対応

電子帳簿保存法に完全対応。タイムスタンプや検索要件など、法令で求められる要件を満たした保存が可能です。

3

## コスト削減

紙書類の保管スペースが不要になり、保管コストを削減。監査対応時の書類検索も効率化されます。



# 経理DX導入による効果

70%

処理時間削減

請求書処理や仕訳入力の自動化により、  
経理業務の処理時間を大幅に短縮

90%

入力ミス削減

手作業による転記ミスをほぼゼロに。デ  
ータの正確性が飛躍的に向上

5日

決算早期化

月次決算を5営業日以内に完了。経営判  
断のスピードアップに貢献

# 業務フロー整備と標準化

01

## 業務の可視化

各経理業務の流れを詳細に可視化し、標準フローを文書化します

02

## 属人化の解消

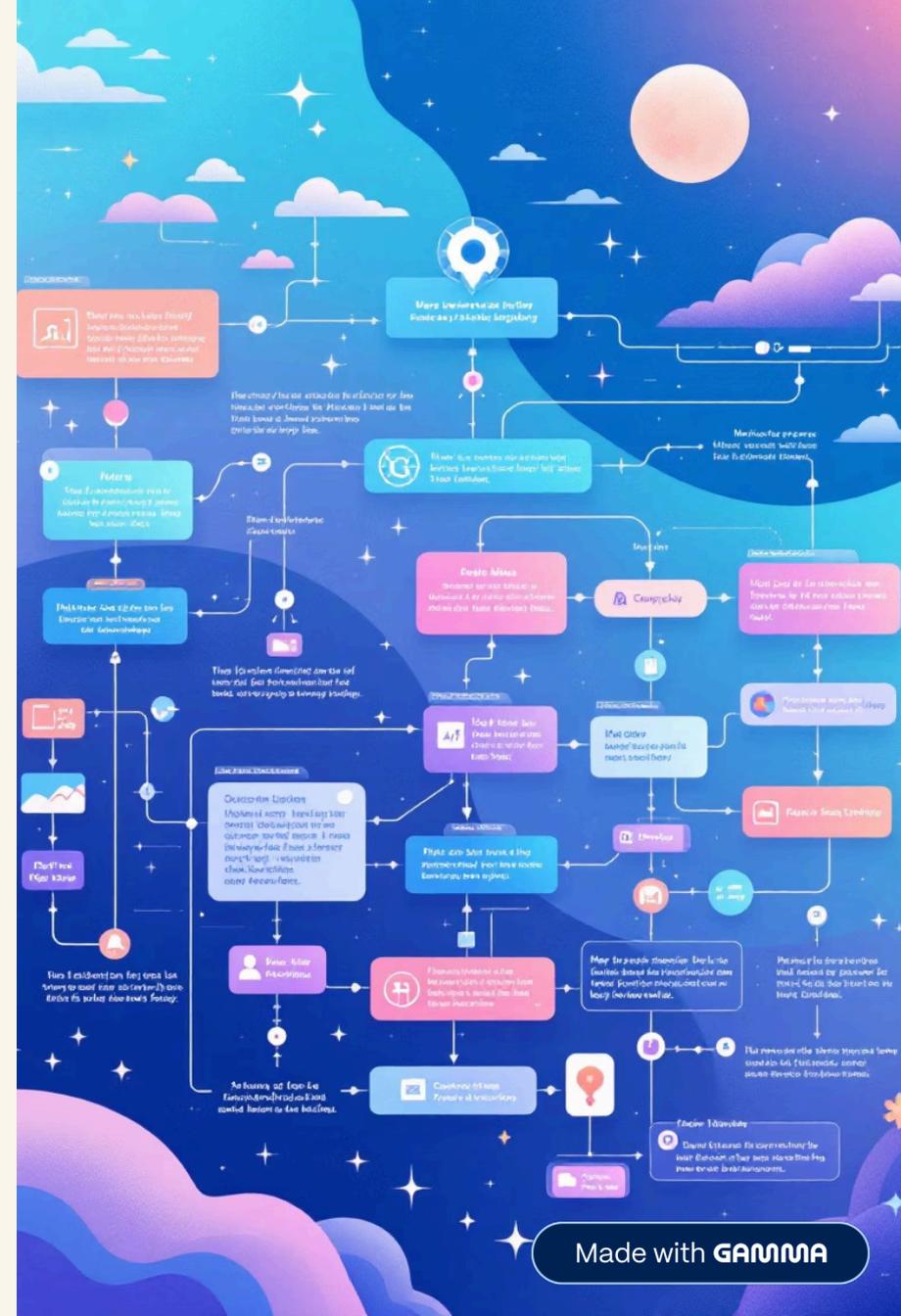
誰でも同じ手順で処理できる仕組みを構築し、業務の品質を均一化します

03

## 継続的改善

DXを基盤とした継続的な業務改善サイクルを確立します

標準化により、**新人育成期間の短縮**や、担当者不在時のバックアップ体制構築が可能になります。



# 経理DXで実現する未来

## 戦略的な経理部門へ

単純作業から解放された経理部門は、より戦略的な業務に注力できます。

- 経営分析とレポートの高度化
- 予算管理と経営計画の精緻化
- キャッシュフロー管理の最適化
- 内部統制の強化とリスク管理

経理DXは単なる効率化ではなく、企業の競争力を高める投資です。今日から始めましょう。

